

## 悪天候・異常気象には事前の準備が大切！ ～ 災害が発生してからでの対策では間に合いません ～

気象庁によると近畿地方の令和3年の梅雨入り（速報値）は5月16日ごろと発表され、記録的な早さとなっています。大雨・強風などの悪天候時の屋外作業は非常に危険です。**作業開始前に天気予報などで天候状態を把握し、作業中の基準などを決めておく必要があります。**また、**自然災害の発生に備えて、対策や対応方法を予め決めておくことも必要**です。

### 悪天候に対する備え

- 悪天候への対策、情報を把握・伝達できるよう対応マニュアルの作成や、連絡体制の明示、非常用品の備蓄など、**日頃から備えておきましょう。**
- 工事現場周辺や河川上流の気象情報を入手し、**悪天候が予想される場合は、看板など飛散物が固定されているかなどの点検、施工途中箇所の養生や土のうの設置、重機などの安全な場所への退避**などを行いましょ。
- 土砂災害が予想される箇所、浸水のおそれがある箇所などには、必要に応じて立ち入り禁止措置を講じましょ。

気象情報の把握



### 作業再開前の点検

- 作業を再開する前には、**必ず足場・作業構台、重機、地盤の変状などの確認**をしましょ。
- 土砂災害の危険がある現場では、現場周辺に地盤の緩み、浮き石などの異常が生じていないか確認しましょ。
- 降雨がなくても強風により、樹木の揺れが地盤に伝わり浮き石が生じることがあります。現場周辺の確認を実施しましょ。
- 被害危険箇所の発生を想定し、点検巡視は必ず複数で行いましょ。

確認は複数で



### 避難情報の変更

- 今年度から、これまでの「避難勧告」と「避難指示」を「避難指示」に一本化、名称の見直しなど、自治体が発表する避難情報が大幅に変更されました。情報収集の際には注意しましょ。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険	緊急安全確保
<b>警戒レベル4までに必ず避難！</b>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

### 地震への備え

- 労働安全衛生法では『悪天候』として中震の震度4以上を作業中止の基準としています。
- 地震は予測が困難であることから、作業中に発生した場合を想定し、特に**高所作業や重機作業では落下防止など安全対策を講じましょ。**



# 「かもしれない」や、「危険を予知」を行い安全確保

～ 関係者が一丸となって安全な現場にしましょう ～

KY活動は、危険予知（K：キケン、Y：ヨチ）の頭文字をとったものです。現場や作業にひそむ危険性や有害性等の危険を予知し、事故を未然に防ぐために行います。

事故が起ってからでは取り返しがつきません。ひとりひとりが自主的に行動するためにも、自らが考える機会を設けることが大切です。

## KY活動のポイント

- 複数で行うときは、全員から意見を聞くようにしましょう。**様々な人の意見や視点を共有することができ、ひとりでは気付かなかったことを発見することができます。**
- 未経験の新規入場者などは、現場の危険性を十分に認知していないこともあるので、「職場のあんぜんサイト（厚生労働省）」で公開されている労働災害の事例などを用いたり、参加者のヒヤリハットの体験を話し合うようにしましょう。
- 繰り返し実施することが大切です。**一度では十分な理解が得られなくても、繰り返し実施することで次第に定着していきます。**
- 「やらされている」と感じているうちは、改善行動は効果が薄いものとなってしまいます。“自分のこと”として捉え、行動するように働きかけましょう。
- “きちんと”“ていねいに”と伝えても、その度合いは人それぞれ受け取り方が異なります。**行動目標では、できるだけ具体的な言葉を使う**ようにしましょう。
- 「作業の内容が分かっている」、「時間がもったいない」などの理由から、危険性を軽視するケースが見受けられます。安全に関するポイントを確実に認識することはミス発生防止に繋がるため、確実にKY活動を行いましょ。



## 指差し呼称の実践

- 指差し呼称とは、行動の要所要所で、対象をしっかりと見ながら、自分の確認すべきことを「○○○○ヨシ！」と確認対象に腕を伸ばして指をさし、はっきりした声で呼称して確認することです。
- **指差し呼称は意識レベルを上げ、確認の精度を向上させる有効な手段**です。
- 指差し呼称は、動作に適度の緊張は必要なものの、大声は出さなくてもよいのですが、恥ずかしさや照れくさを払拭するためにも、KY活動では参加者全員で大きな声と動作で行いましょう。

○○○○ヨシ！



## 外国人労働者への安全教育

～ 適切な配慮をお願いします ～

近年、外国人労働者が増加しています。外国人労働者は一般的に日本の労働慣行や現場で用いる用語に慣れていません。言語や文化の違いからミスや事故を招く場合があります。

安全教育を実施する際には、下記のような公開されている教材を用いて、**作業手順や安全のためのルールをしっかりと理解してもらう**ようにしましょう。

特に安全標識は瞬時に理解できるよう、作業員の母国語に対応した言語が表示されている標識を設置するようにしましょう。



### ◇安全衛生教育資料（映像）

①職場のあんぜんサイト（厚生労働省）<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/kyozaishiryo.html>

②建設業労働災害防止協会（建災防）

[https://www.kensaibou.or.jp/safe\\_tech/olympic\\_paralympics/languages.html](https://www.kensaibou.or.jp/safe_tech/olympic_paralympics/languages.html)

### ◇安全衛生教育資料（パンフレットなど）

③厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186714.html>

④中央労働災害防止協会（中災防）

[https://www.jisha.or.jp/international/ftext/ftext\\_j.html](https://www.jisha.or.jp/international/ftext/ftext_j.html)

### ◇安全標識（外国語標示例）

⑤建設業労働災害防止協会（建災防）

[https://www.kensaibou.or.jp/safety\\_sign/index.html](https://www.kensaibou.or.jp/safety_sign/index.html)

出典：建災防統一安全標識一覧  
（外国語標示例）（建災防）

